

2025年8月3日 聖日礼拝メッセージ

牧師：伊藤 博

《テーマ》 「わたしにとどまりなさい」

・ ・ あなたの人生の豊かな結実のために ・ ・

《み言葉》 ヨハネ 15：1～12

- 1 わたしはまことのぶどうの木、わたしの父は農夫です。
- 2 わたしの枝で実を結ばないものはすべて、父がそれを取り除き、
実を結ぶものはすべて、もっと多く実を結ぶように、刈り込みをなさいます。
- 3 あなたがたは、わたしがあなたがたに話したことばによって、すでにきよいのです。
- 4 わたしにとどまりなさい。わたしもあなたがたの中にとどまります。枝がぶどうの木にとどまっていなければ、
自分では実を結ぶことができないのと同じように、あなたがたもわたしにとどまっていなければ、実を結ぶことはできません。
- 5 わたしはぶどうの木、あなたがたは枝です。人がわたしにとどまり、わたしもその人にとどまっているなら、その人は多くの実を結びます。わたしを離れては、あなたがたは何もすることができないのです。
- 6 わたしにとどまっていなければ、その人は枝のように投げ捨てられて枯れます。人々がそれを集めて火に投げ込むので、燃えてしまいます。
- 7 あなたがたがわたしにとどまり、わたしのことばがあなたがたにとどまっているなら、何でも欲しいものを求めなさい。そうすれば、それはかなえられます。
- 8 あなたがたが多くの実を結び、わたしの弟子となることによって、わたしの父は栄光をお受けになります。
- 9 父がわたしを愛されたように、わたしもあなたがたを愛しました。わたしの愛にとどまりなさい。
- 10 わたしがわたしの父の戒めを守って、父の愛にとどまっているのと同じように、あなたがたもわたしの戒めを守るなら、わたしの愛にとどまっているのです。
- 11 わたしの喜びがあなたがたのうちにあり、あなたがたが喜びで満ちあふれるようになるために、わたしはこれらのことをあなたがたに話しました。
- 12 わたしがあなたがたを愛したように、あなたがたも互いに愛し合うこと、これがわたしの戒めです。

《今週のメッセージ》

1、神様は私たちが、人生において豊かに実を実らせることを願っています。

- a、誰であっても、無意味な人生ではなく『豊かに実を結ぶ人生』『祝福の人生』を願います。
- b、そのためには、私達が主に「とどまる」ことが大切です。

「とどまる」ことがいかに大切なのか？・・・1～10節の中で11回も使われています。

「人類が初めて月に降り立った日、宇宙で初めての聖餐式が行われた！」

バズ・オルドリン 【米 1930～ NASA 宇宙飛行士 1969年7月20日

月着陸船により月面着陸・アームストロング船長に続いて人類で2番目に月面に

降り立った。月着陸船の中でオルドリン飛行士が聖餐式をした際、彼はヨハネ 15:5
のみことばを朗読した。】



2、実を結ぶために「とどまる」とはどのようなことでしょうか？

- a、「とどまる」"Abide in" [NKJV] ・ ・ 「住む、滞留する、場所にとどまる、残る」

① 『がっちりと食い込んでいる状態。』『簡単に外れない。』

『取り除くことできない深い関係。』『深い愛の関係』です。 イエス様



②ちょうどそれは『イエス様に接ぎ木』された状態です。(ローマ 11:17~24)

b、主イエス様に「とどまる」ことの3要素

①「わたしにとどまる」

4~7 節

☆イエス様を信じ、イエス様との人格的關係・友となることです。

「わたしはもう、あなたがたをしもべとは呼びません。しもべなら主人が何をするのか知らないからです。わたしはあなたがたを友と呼びました。父から聞いたことをすべて、あなたがたには知らせたからです。」

ヨハネ15:15

②「わたしのことばにとどまる」

7 節

☆み言葉を信じ、『信賴して従うこと Trust and Obey 』です。

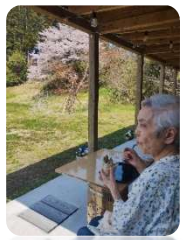
③「わたしの愛にとどまる」

9~10 節

☆主の戒め（命令）を守ることです。

☆主の戒め・み言葉の命令とは・・・「兄弟姉妹が互いに愛し合う事」です。 11~12 節

✦ 4月20日天に召された故森山美代子姉は、救われてから「イエス様にとどまり、イエス様のみことばにとどまり、イエス様の愛にとどまり」続け、豊かな実を結びました。



3、神様は私たちが、人生においてもっと多くの実を实らせるために「取り除き」・「刈り込み」をなされます。

a、主は、主に「とどまる」私たちが豊かな実を結びもっと多くの実を实らせるように願っています。

「実を結ぶのはもっと多くの実を結ぶように」・・・2 節

「多くの実を結び」・・・8 節

b、「実を結ばないもの」に対しての、良き農夫なる父の愛は

「取り除き」・・・αἶρει Айレイ【ギリシャ語】「持ち上げ・引き上げ」なさいます。 2 節

①地面に沿って伸びた枝は、葉が土にまみれて、枝全体が日陰に入り実を結ばなくなるので、良き農夫はそれを持ち上げ・引き上げ、実を結ぶようにされます。

②父なる神は、落ち込んでいる・心が沈んで、実を結ぶのが困難な者を愛し「持ち上げ、引き上げ」てくださり、実が実るようにして下さいます。



c、主は、もっと多くの実を結ぶため、「刈り込み」・・・καθαίρει カサレイ【ギリシャ語】

「剪定し、余分なものをとりのぞき、きよめ」をなさいます。 2 節

神様は、もっと実を实らせるために、2つの「きよめの剪定ばさみ」をお持ちです。

①「みことば」は、私たちの罪を示し・良くないものを除く「きよめの剪定ばさみ」です。「聖書はすべて神の靈感によるもので、教えと戒めと矯正と義の訓練のために有益です。」

Ⅱ テモテ 3:16

②「試練や様々な苦しみ」も、神様の「きよめの剪定ばさみ」です。

「試練で試されたあなたがたの信仰は、火で精錬されてもお朽ちていく金よりも高価であり、イエス・キリストが現れるとき、称賛と栄光と誉れをもたらします。」 I ペテロ 1:7

(ローマ 5:3~5)



✦ 本間希義師 (93 歳)

いつも愛の主の御手により「持ち上げられ・引き上げられ」「みことば」と

「試練や様々な苦しみ」という「きよめの剪定ばさみ」によって、豊かな実を結んでいます。

『聖日礼拝の時には、声を上げて賛美し、とりなし祈っています。』

『皆様のために・教会の為に祈る時、涙を流し祈っています。』